

愛媛県松前町における助け合い活動創出に向けた取り組み

愛媛県松前町では、平成27年度当初から松前町社協の協力のもと生活支援体制整備事業において、多様な主体の助け合い活動創出に向けて取り組んでいる。紆余曲折の段階を経て今年度に至っているが、3つの第2層協議体の特色ある取り組み経過を写真付きで報告する。

A 体制整備状況

③協議体の取り組みその他

愛媛県松前町における助け合い活動創出に向けた取り組み



○平井栄理子¹⁾、門屋隆文²⁾、奥村栞²⁾

- 1) 愛媛県松前町保健福祉部健康課地域包括支援センター係
- 2) 社会福祉法人松前町社会福祉協議会地域支援課地域福祉係



要旨

当町では平成27年度から生活支援体制整備事業において、住民主体の助け合い創出に向けた取り組みを開始した。現在までの展開について、第2層協議体の活動を中心に報告する。

年度別の展開

年度	主な展開
平成27(2015)年度	「松前町助け合い隊養成講座」開設；地域課題を考え、出来る活動を考え、実践する人材（担い手）育成
平成28(2016)年度	制度理解と目指す地域像のイメージ統一；大づかみ勉強会の開催、岡田校区第2層協議体スタート
平成29(2017)年度	地域情報共有の土台作り；松前校区第2層協議体スタート、第2層協議体連絡会の開催、北伊予校区第2層・第1層協議体スタート
平成30(2018)年度	第2層協議体ごとの助け合い活動に向けた準備期；地域情報の「見える化（白地図の活用）」、困りごとやできそうなことのマッチングとフィールドワーク
平成31 (令和元；2019)年度	各校区の特徴ある取り組みの本格的な地域への展開と、「担い手」や「応援隊」を地域に増やす取り組みへ（予定）

第2層協議体の助け合い活動創出に向けた取り組み

①岡田校区

地域情報の共有を茶話会形式で開始 → 地域情報を可視化する、白地図にシールを貼る等社会資源をマッピング → 買い物支援のため移動スーパーのメーカーとの話し合い → 1行政区での互助による助け合い活動「ちょこっとお助け隊」チラシ作成、サロンでのニードの聞き取り

②松前校区

社会資源のマッピングによる校区の見える化から開始。子供の登下校見守り支援や買い物支援を検討。 → 浸水被害を機に、一人ひとりができる減災対策アプローチへ。減災対策を普及啓発するため、対策を検討・デモストし、媒体を作成。サロン等への啓発へ。

③北伊予校区

地域情報マッピング、見える化 → コミュニティバスを有効な移動ツールとして活用するために現地調査。バス停から始まる魅力発見・発信へ【町民課による新ふるさとづくり総合支援事業との連携】

④第2層連絡会

【目的】それぞれの取り組みの情報共有や相互助言・協同、活性化を促す
【効果】町内ネットワークの基盤固め、人材発掘、各協議体活動の活性化

